東京学芸大学
学大スポーツ
2018年度春季関東大学男子1部リーグ戦
優勝は、早大、東学大は今季12位
青山学院大との入れ替え戦へ（5月26日）
発行所 〒164-0013
東京都中野区弥生町4-11-15
学大スポーツ新聞社
03(3381)1457

男子バレーボール

▼4月21日 ウイング・ハット春日部
明治大 3（25-20, 25-17, 25-23）0 東京学芸大

▼4月22日 ウイング・ハット春日部
日本大 3（25-22, 25-23, 25-23, 21-25）1 東京学芸大

▼4月28日 キッコーマンアリーナ
慶応義塾 3（15-9, 23-25, 25-19, 25-18, 24-26）2 東京学芸大
第一セットをとり、第4セットもとりながら、おしくも敗退した。

▼4月29日 キッコウマンアリーナ
国士館大 3（25-19, 25-22, 22-25, 18-19, 26-28）2 東京学芸大

▼5月12日 日体大健志台
東京学芸大 3（25-17, 25-15, 25-23, 23-25）1 東海大
第4セットをとり、あと一歩に。

▼5月13日 日体大健志台
順天堂大 3（25-23, 25-18, 25-23）0 東京学芸大

▼5月19日 日体大健志台
駒沢大 3（26-24, 25-21）0 東京学芸大

男子バレーボール最終順位

優勝	早稲田大	11勝0敗
2位	筑波大	9勝2敗
3位	中央大	8勝3敗
4位	順天堂大	7勝4敗 1.857
5位	日体大	7勝4敗 1.048
6位	明治大	5勝6敗 1.050
7位	東海大	5勝6敗 1.000
8位	慶応大	5勝6敗 0.750
9位	駒沢大	4勝7敗
10位	国士館大	3勝8敗
11位	日本大	2勝9敗
12位	東京学芸大	1勝10敗

サッカー

関東大学サッカーリーグ戦（2部）
東学大、6戦目で初勝利。

▼4月28日 拓殖大八王子
東京学芸大 1（0-0, 1-1）1 神奈川大
・学芸大の得点者 80分鈴木翔太
・シュート数 東学大10 神奈川大3

▼5月3日 拓殖大八王子
青山学院大 1-5-0 東京学芸大
・シュート数 東学大7 青山学院大6
・学芸大の得点者 39分山中 53分色摩 90分+1 住田（1年）
・シュート数 東学大6 立正大14

▼5月6日 立正大熊谷
立正大 4（1-1, 3-2）3 東京学芸大
前節にキャプテン堀が負傷したため、1年の住田をスタメンに起用。26分に立正大に先制されるが、39分に東学大はペナルティーキックを得て同点に。53分には相手のハンドからふたたびペナルティーキックで色摩がしっかり決めて2対1に。立正大は10人となりあがらも95分と81分、84分とゴールを決める。アディショナルタイムにルーキーの住田がミドルシュートで一点を入れたが、反撃はそこまで。後半の数的有利を生かせなかった。

▼5月20日 拓殖大八王子
東京学芸大 2（2-1, 0-0）1 拓殖大
・学芸大の得点者 7分 色摩 40分 鈴木魁人（1年）

アメリカンフットボール

2つの春季オープン戦

▼4月28日 拓殖大八王子
東京学芸大 1（0-3-0, 1-5-1）9 神奈川大

▼5月12日 アミノバイタルフィールド
上智大 45-0 東京学芸大

陸上競技

栗本が自己ベスト丸投げで学大新

4月14日に行われた横浜市民体育大会陸上競技で、本学の栗本来未（3年）が自己ベスト丸投げで学大新記録になる14メートル54を出した。

〈静岡国際陸上〉5月3日 エコパスタジアム
・女子800メートル 6位 山田はな（わらべや日洋・本学OG） 2分7秒75

〈ゴールデンゲームズinのべおか〉5月5日 西階陸上競技場
・女子1500メートル 4位 ト部蘭 4分7秒69（ナイキ東京・OG）

〈東京選手権〉4月30日 駒沢陸上競技場
・女子棒高跳び 1位 青柳有香（2年） 3メートル70

ラグビー

▼5月5日 東洋大グラウンド
東京学芸大 45（26-0, 19-14）14 東洋大

野球

東京新大学野球 春のリーグ戦（2部）
東学大にとって痛い2敗

高千穂大にコールド負け

▼4月29日 東洋学園大グラウンド
東京学芸大 0 0 0 0 1 0 0 0 0 1
高千穂大 0 0 0 6 2 X 8
（7回コールド）
・高木○、加藤、荻沢～飯出
（2塁打）大音
学芸大は4回に1点先制しながらも、5回に高千穂大の猛打をあび、守備のミスもあって大量6点をとられてしまった。相手投手に学芸大の打線は沈黙し、反撃できなかった。

▼5月5日 東洋学園大G
東京学芸大 0 0 2 1 0 0 0 0 0 3
10x～3日大生物 0 0 0 0 0 3 0 0 0 0
飯倉、荻沢○～飯出 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1
荻沢、飯倉～井出 4
（10回コールド）
・伊戸、河野、加藤、色澤～飯出、丁野
（本塁打）大音、（2塁打）酒井、中村

▼5月12日 首都大東京G
首都大に延長14回で苦杯
東京学芸大 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1
首都大東京 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1
（延長14回）
・荻沢○、高木、古田～飯出、丁野（2塁打）杉高、大音

▼4月22日 東洋学園大グラウンド
東京学芸大 0 0 2 1 3 1 2 9
日大生物 0 0 1 0 0 0 1 2
（7回コールド）
・荻沢○、高木、古田～飯出、丁野（2塁打）杉高、大音

▼4月22日 東洋学園大グラウンド
東京学芸大 7 5 2 文京学院大
・飯倉、高木○～飯出

▼4月29日 東洋学園大グラウンド
東京学芸大 0 0 0 0 1 0 0 0 0 1
高千穂大 0 0 0 0 6 2 X 8
（7回コールド）
・高木○、加藤、荻沢～飯出
（2塁打）大音
学芸大は4回に1点先制しながらも、5回に高千穂大の猛打をあび、守備のミスもあって大量6点をとられてしまった。相手投手に学芸大の打線は沈黙し、反撃できなかった。

▼5月5日 東洋学園大G
東京学芸大 0 0 2 1 0 0 0 0 0 3
10x～3日大生物 0 0 0 0 0 3 0 0 0 0
飯倉、荻沢○～飯出 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1
荻沢、飯倉～井出 4
（10回コールド）
・伊戸、河野、加藤、色澤～飯出、丁野
（本塁打）大音、（2塁打）酒井、中村

▼5月12日 首都大東京G
首都大に延長14回で苦杯
東京学芸大 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1
首都大東京 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1
（延長14回）
・荻沢○、高木、古田～飯出
（3塁打）杉高（2塁打）杉高、大音

▼5月13日 東洋学園大G
東京学芸大 3 5 2 文京学院大
国大
・高木○、伊戸～飯出
（本塁打）杉高（2塁打）酒井
学芸大は5回、1アウト2、3塁となったところで、4番杉高がレフトに3ランを放つ。
この試合の盗塁数が10と走塁でも上回り、試合時間が3時間をこえる激闘。荻沢の好投が続く。14回、ヒットと四球でつかんだ1点をとられる。その裏ゼロで敗け。

▼5月13日 東洋学園大G
東京学芸大 3 5 3 東洋学園大G
国大
・高木○、伊戸～飯出
（本塁打）杉高（2塁打）酒井
学芸大は5回、1アウト2、3塁となったところで、4番杉高がレフトに3ランを放つ。
この試合の盗塁数が10と走塁でも上回り、試合時間が3時間をこえる激闘。荻沢の好投が続く。14回、ヒットと四球でつかんだ1点をとられる。その裏ゼロで敗け。

▼5月17日 東洋学園大G
東京学芸大 10-1 文京学院大
（7回コールド）
・伊戸、河野、加藤、色澤～飯出、丁野
（本塁打）大音、（2塁打）酒井、中村
7回ノーアウト満塁で、大音がレフトにホームランを放ち、大量点をだき放す。投げては、前試合に好投した1年の伊戸が先発。このあとも1年生の3人がつなぎ、1試合すべて1年生で投げきった。

▼5月19日 東洋学園大G
東京学芸大 4 5 0 東洋大
（19-14）1
現在2部は、高千穂大（7勝1分）と東京学芸大（7勝2敗）の2チームが上位。両者は5月26日に直接対決するが、残り試合が高千穂大に1つあるので、高千穂大の優勝となる可能性が高い。

5月24日から27日まで相模原市で関東インカレ

〈東京選手権〉4月30日 駒沢陸上競技場
・女子棒高跳び 1位 青柳有香（2年） 3メートル70

〈静岡国際陸上〉5月3日 エコパスタジアム
・女子800メートル 6位 山田はな（わらべや日洋・本学OG） 2分7秒75

〈ゴールデンゲームズinのべおか〉5月5日 西階陸上競技場
・女子1500メートル 4位 ト部蘭 4分7秒69（ナイキ東京・OG）

・会場 相模原モオンスタジアム
・5月24日（木）
女子棒高跳、走幅跳など
・5月25日（金）
女子一万メートル競歩など
・5月26日（土）
男子一万メートル競歩など
・5月27日（日）
女子400メートルハードルなど

ハンドボール

〈男子〉リーグ戦最終順位 4部4位（得点王に東学大の坂西56点）

〈女子〉リーグ戦最終順位2部A5位

女子ソフトボール

・インカレ第2次予選 国士館大 5～2 東京学芸大（春のリーグ戦は、2部で優勝）

むさしの広場

この春のシーズン、学芸大は勝ちに恵まれず、苦戦した。しかし、どの試合もよくがんばり、熱戦だった。私は一つ一つゲームの流れを引きよせられなかった。野球の首都大学東京戦は延長14回の激戦、延長に入ってもピンチやチャンスはあったが、最後は相手のヒットと四球で惜敗。この試合に勝っていれば、優勝に王手をかけられただけにくやしいゲームだった。サッカーの立正大戦も2対1でリードしながら、終盤3失点してしまった。しかし、これからが本当の勝負だ。学芸大のチームのよさを生かして、気持ちを入れかえてがんばりたい。今年入った1年生も大活躍しているので、楽しみだ。